

事務事業評価シート

(平成 25 年度実施事業)

事務事業名	市政見学会事業			事業コード	155
所属コード	046700	課等名	市民協働推進課	係名	地域活動係
課長名	吉田 春彦	担当者名	永井 健弘	内線番号	2115
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	心がつながる相互理解	コード	3
	施策	元気な地域コミュニティ活動の推進	コード	1
	基本事業	コミュニティ活動の促進	コード	1
予算費目名	一般会計 2 款 1 項 8 目 市政見学会事業 (002-02)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 51 年度	
根拠法令等				

(2) 事務事業の概要

市の事業や施設などを市民に紹介することで、市政への関心を高めていただく。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

昭和 51 年から、町内会等の活動のために貸し出している地域活動バス「せきれい」号を利用し、行っている。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

参加者が固定化し減少する傾向にある。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

市民

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	27年度 見込み
A 人口	人	298,853	299,920	299,920	299,585	299,585
B						
C						

(3) 25年度に実施した主な活動・手順

地域活動バス「せきれい」号の運行により, 市の事業や施設等を市民に紹介する。

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	27年度 目標値
A 市政見学会の回数(コース×日数)	回	5	6	6	3	5
B						
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

市政, まちづくりへの関心を高めてもらうとともに, コミュニティ活動を盛り上げ, より良い地域社会を作る。

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	23年度 実績	24年度 実績	25年度 計画	25年度 実績	27年度 目標値
A 市政見学会参加人数	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	人	140	144	144	85	120
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	23年度実績	24年度実績	25年度計画	25年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	26	25	25	24
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	26	25	25	24
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	400	455	455	250
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,600	1,820	1,820	1,000
計	トータルコスト A+B	千円	1,626	1,845	1,845	1,024
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

市政への関心を強く持ってもらうことにより、市政への理解が深まり、市政と連動した地域活動の活性化につながるため、整合性がある。

② 市の関与の妥当性

市政への理解を深めてもらうことが目的であることから、市が行うべき事業である。

③ 対象の妥当性

全市民を対象としているため、妥当である。

④ 廃止・休止の影響

市の事業を市民に紹介する機会が失われることになり、市民と行政による協働のまちづくりを進める上で地域活動への影響があると考えられる。

(2) 有効性評価 (成果の向上余地)

見学先や内容、開催日を工夫することで、より高い成果が見込まれるものとする。

(3) 公平性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

全市民を対象として行っており、主として広報もりおかにより募集を行っているため、受益機会は公平・公正である。

(4) 効率性評価

各担当課が独自で実施することにより、事務の効率化と人件費の削減が見込まれる。

4 事務事業の改革案 (Plan)

(1) 改革改善の方向性

現在、地域活動バス「せきれい」号を使用し、当課が周知広報や参加者の募集、集計、各担当課が見学先での説明等を行っているが、各担当課が独自で実施することにより、事務の効率化と事業の充実が見込まれる。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

各企画の取りまとめを行う部署がなくなることで、見学先や日程等の重複が考えられる。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

市政見学会は市の施策を市民に理解していただくことを目的に地域活動バスを利用して実施しているが、各担当課で実施することにより、取りまとめの部署がなく、経費の削減につながるが見込まれることにより、検討していきたい。